

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和7年4月30日

都道府県知事 殿

病院名 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター  
開設者 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。  
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

① 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 050004

臨床研修病院の名称： 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

記入日：西暦 2025 年 4 月 30 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	050004	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 長寿医療研究センター臨床研修病院群 番号 0500042
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ナカガミ 氏名(姓) 中神	モトミツ (名) 基充	役職 人事労務専門職  (内線 4631 ) (直通電話 0562-46-2311) e-mail : nakagami@ncgg.go.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ コクリツケンキュウカイハツホウジンコクリツチョウジュイリョウケンキュウセンター 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 474-8511 (愛知県) 大府市森岡町七丁目 430 番地  電話 : 0562-46-2311      F A X : 0562-48-2373  二次医療圏 の名称 : 知多半島		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ コクリツケンキュウカイハツホウジンコクリツチョウジュイリョウケンキュウセンター 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 474-8511 (愛知県) 大府市森岡町七丁目 430 番地  電話 : 0562-46-2311      F A X : 0562-48-2373		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ マツウラ 姓 松浦	トシヒロ 名 俊博	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	https://www.ncgg.go.jp/hospital/iryokankei/kenshu/		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 73 名、非常勤（常勤換算）： 20.0 名 計（常勤換算）： 93.0 名、医療法による医師の標準員数： 29.8 名 <small>* 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入</small>
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2024 年 4 月 2 日、告示番号：第 186 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 ( 141.610 ) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 2,351 件（うち診療時間外： 1,195 件） 1日平均件数： 6.4 件（うち診療時間外： 3.3 件） 救急車取扱件数： 1,085 件（うち診療時間外： 557 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 2 名、看護師及び准看護師： 1 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1. 有 (0) 無) その他 ( )
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 383 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 <small>年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。</small>
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 19.6 日、2. 精神： . 日、3. 感染症： . 日 4. 結核： . 日、5. 療養： . 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 0 件、異常分娩件数： 0 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 1 回、今年度見込： 4 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 <small>下に開催した回数を記入</small>
	剖検数	前年度実績： 0 件、今年度見込： 4 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 ( ) 大学、( ) 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	(1) 有 ( 1 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	( 252.000 ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 2300 冊、国外図書： 500 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 45 種類、国外雑誌： 140 種類
	図書室の利用可能時間	06：30 ～ 21：30 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ((1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1. 有 (0) 無)、 その他 ( ) 利用可能時間 ( 06：30 ～ 21：30 ) 24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1) 有 0. 無)、 その他 ( )	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称： 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	㊦がナ マツウラ トシヒロ 氏名(姓) 松浦 (名) 俊博 役職 病院長													
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)													
	診療録の保存期間	( 20 ) 年間保存													
	診療録の保存方法	1. 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に:)													
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	① 有 ( 名 ) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>													
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 ( 2 ) 名、兼任 ( 2 ) 名 主な活動内容：院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集、医療事故の防止のための研修及び教育、院内で発生したヒヤリハットの累計と職員への情報提供、医療事故防止対策の立案													
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等：	㊦がナ アヅミ キミヨ 氏名(姓) 安積 (名) 喜美代 役職 医療安全管理者												
		対応時間 ( 8:30 ~ 17:15 ) 24時間表記													
		患者相談窓口に係る規約の有無： ① 有 0. 無													
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 0. 無 指針の主な内容：医療安全の考え方、委員会、管理室の設置、RMの配置、ヒヤリハット報告、事故報告、研修等													
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 ( 12 ) 回 活動の主な内容：医療事故報告と分析並びに再発防止等の検討、ヒヤリハット報告と分析並びに再発防止等の検討、医療安全管理の為の啓発、教育、広報等の立案													
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 ( 2 ) 回 研修の主な内容：医療安全対策の考え方、具体的事例と対策、マニュアル周知														
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：日本医療機能評価機構への報告														
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		修了： 2 名 中断： 1 名													
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>2 名</td> <td>3 名</td> <td>3 名</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>2 名</td> <td>1 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	2 名	3 名	3 名	2 年	2 名	1 名	0 名	
	前々年度	前年度	当該年度												
1 年	2 名	3 名	3 名												
2 年	2 名	1 名	0 名												
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 ( 383 ) 床 ÷ 10 = ( 38 ) 名													
	患者数から算出	年間入院患者数 ( 5,093 ) 人 ÷ 100 = ( 51 ) 名													
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>		1. 精神保健福祉士： 3 名 (常勤： 3 名、非常勤： 0 名)													
		2. 作業療法士： 44 名 (常勤： 44 名、非常勤： 0 名)													
		3. 臨床心理技術者： 9 名 (常勤： 4 名、非常勤： 5 名)													
		9. その他の精神科技術職員： _____ 名 (常勤： _____ 名、非常勤： _____ 名)													
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>		1. ① 有 (評価実施機関名：卒後臨床研修評価機構(2024年1月26日)) 0. 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small> 受審状況有りの場合、結果の公表 ① 有 0. 無													

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称： 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1年次研修医 ( 0 ) 名 2年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1年次研修医 ( 0 ) 名 2年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (1) 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 8時 分 ~ 19時 分) 病児保育 (1. 有 (0) 無) 夜間保育 (1) 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ((1) 可 0. 不可)
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 (0) 無) その他の補助 (具体的に： )
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1) 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 (0) 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		( )
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (メンター ) 窓口の専任担当 (1) 有 ( 2 名) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 ( 各種ハラスメント相談窓口 ) 窓口の専任担当 (1) 有 ( 8 名) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：  プログラム番号： _____
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1年次： 名、2年次： 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 氏名 (姓) (名) 所属 役職 電話：( ) — FAX：( ) — e-mail： URL：http://
	資料請求先		住所 〒 □□□ — □□□□ ( 都・道・府・県) 担当部門 担当者氏名 フリガナ 姓 名 電話：( ) — FAX：( ) — e-mail： URL：http://



## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： \_\_\_\_\_

臨床研修病院の名称： \_\_\_\_\_

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年 回） その他（具体的に _____）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（1. 有 0. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分）
		病児保育（1. 有 0. 無） 夜間保育（1. 有 0. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（1. 可 0. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 0. 無）
		その他の補助（具体的に： _____）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（1. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 0. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ _____ ）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ _____ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ _____ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

## 7. 病院群の構成等

様式 A-10 別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター（愛知県）

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
愛知県	知多半島医療圏	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター (病院施設番号:050004)		愛知県	名古屋医療圏		独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター (病院施設番号:030398)		愛知県	知多半島医療圏		知多保健所 (病院施設番号:032015)		国立長寿医療センター 病院研修プログラム	3
				愛知県	知多半島医療圏		半田市立半田病院 (病院施設番号:030427)		愛知県	知多半島医療圏		あいち小児保健医療総合センター (病院施設番号:050014)			
				愛知県	知多半島医療圏		愛知厚生連知多厚生病院 (病院施設番号:030941)		愛知県	知多半島医療圏		やすい内科（在宅医療支援診療所） (病院施設番号:096903)			
									愛知県	知多半島医療圏		医療法人寿康会大府病院 (病院施設番号:031688)			
									愛知県	西三河北部医療圏		愛知厚生連足助病院 (病院施設番号:032048)			
									愛知県	知多半島医療圏		いきいき在宅クリニック (病院施設番号:188859)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

当センターでは、研修医にへき地医療研修をできる限り経験させたいと考えているが、同一医療圏内にへき地医療研修に対応できる医療機関が1ヶ所しかないため。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数 4回）

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ コンドウ イズミ 姓 近藤 名 和泉	国立長寿医療研究センター	病院長	委員長
フリガナ マツウラ トシヒロ 姓 松浦 名 俊博	国立長寿医療研究センター	副院長	副院長
フリガナ ヒラシキ アキヒロ 姓 平敷 名 安希博	国立長寿医療研究センター	循環器内科医長	プログラム責任者
フリガナ コウケツ ノブコ 姓 瀨瀨 名 伸子	国立長寿医療研究センター	看護部長	看護部門の責任者
フリガナ イチノ タカノブ 姓 市野 名 貴信	国立長寿医療研究センター	薬剤部長	薬剤部門の責任者
フリガナ アベ タカシ 姓 安部 名 俊	国立長寿医療研究センター	診療放射線技師長	放射線部門の責任者
フリガナ オオシマ ヨシハル 姓 大島 名 好晴	国立長寿医療研究センター	臨床検査技師長	検査部門の責任者
フリガナ イトウ ナオキ 姓 伊藤 名 直樹	国立長寿医療研究センター	統括管理士長	リハビリ部門の責任者
フリガナ フジオカ ユウキ 姓 藤岡 名 裕樹	国立長寿医療研究センター	総務部長	事務部門の責任者
フリガナ イケハタ ヒロツグ 姓 池畠 名 博次	国立長寿医療研究センター	人事課長	事務部門の担当責任者
フリガナ タカサキ マサト 姓 高崎 名 将大	国立長寿医療研究センター	研修医	1年次代表

氏名		所属	役職	備考
フリガナ オカザキ ヒロキ		国立長寿医療研究センター	研修医	2 年次代表
姓 岡崎	名 洋樹			
フリガナ セキ ユキオ		名古屋医療センター	救急部長	研修実施責任者
姓 関	名 幸雄			
フリガナ モロイ ヒロアキ		半田市立半田病院	産婦人科統括部長	研修実施責任者
姓 諸井	名 博明			
フリガナ タカハシ ヨシツグ		愛知県厚生連知多厚生病院	院長	研修実施責任者
姓 高橋	名 佳嗣			
フリガナ スズキ モトマサ		あいち小児保健医療総合センター	総合診療科部長	研修実施責任者
姓 鈴木	名 基正			
フリガナ オカダ ヒサオ		大府病院	院長	研修実施責任者
姓 岡田	名 寿夫			
フリガナ コバヤシ シンヤ		愛知厚生連足助病院	院長	研修実施責任者
姓 小林	名 真哉			
フリガナ ヤスイ ナオ		やすい内科	院長	研修実施責任者
姓 村瀬	名 和敏			
フリガナ ナカシマ カズミツ		いきいき在宅クリニック	院長	研修実施責任者
姓 中島	名 一光			
フリガナ オノウチ ヒロノリ		知多郡医師会	会長	外部委員
姓 尾之内	名 博規			
フリガナ マスウチ フミオ		知多中部広域事務組合消防本部	消防長	外部委員
姓 枅内	名 文男			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター  
 病院施設番号：05004

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科		
							産 科	婦 人 科					皮 膚 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	2333	(1085)	1614			( )	( )		65				209	778	75
年間新外来患者数	2362		1321						64				316	747	305
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	247.8 (243)	3.0 (366)	119.7 (243)	( )	( )	( )	( )	( )	9.9 (243)	( )	( )	( )	23.0 (243)	75.8 (243)	30.0 (243)
平均在院日数	21.3		19.1						36.7				13.4	3.2	6.2
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数（続紙）

様式A-10 別紙2

区 分	その他の研修を行う診療科			合 計
	リハビリ科	放射線科		
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	287			5361
年間新外来患者数	179	336		5630
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	79.0 (243)	2.7 (243)	( )	
平均在院日数	75.3			
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	5 (5)	3 (1)	( )	72 (37)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 令和 6 年度分)								臨床研修協力施設の名称：国立長寿医療研究センター						
								病院施設番号：050004						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
国立長寿医療研究センター	内科	4	3	3	1	2	2	1	2	5	4	4	4	4
国立長寿医療研究センター	外科					1	1	2	1		1	1		
国立長寿医療研究センター	麻酔科					1	1	1	1					
国立長寿医療研究センター	精神科			1	2									
やすい内科、いきいき在宅、知多厚生病院	地域医療								1					
名古屋医療センター	救急					1	1							
あいち小児保健医療総合センター	小児				1									
半田市立半田病院	産婦人科							1						

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 令和7年度分)								臨床研修協力施設の名称：国立長寿医療研究センター						
								病院施設番号：050004						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
国立長寿医療研究センター	内科	6	3	5	2	2	1	1	2	4	3	3	3	5
国立長寿医療研究センター	外科		1	1	1		1	1	1	1				
国立長寿医療研究センター	麻酔科					1	1	1						
国立長寿医療研究センター	精神科				1			1			2	1	1	1
やすい内科、いきいき在宅、知多厚生病院	地域医療						1		2	1				
名古屋医療センター	救急					1	1	2	2	1	1			
あいち小児保健医療総合センター	小児科		1	1	1									
半田市立半田病院	産婦人科				1	1	1	1						

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：050004206

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

臨床研修病院群番号：0500042

臨床研修病院群名：長寿医療研究センター

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		国立長寿医療研究センター病院研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色		<p>日本で唯一の、高齢者医療に関する国立高度専門医療研究センターにおける研修として以下のような、当病院の特性を生かした工夫が凝らされている。</p> <p>(1) 病院は現在、病床数383床・常勤医師72名で運営しているが、研修医は各年次3名以下と少人数制であるため、質の高い充実した研修が可能である。</p> <p>(2) 夜間・時間外救急医療研修は、研修期間を通して指導医の監督下で行う。</p> <p>(3) ローテート研修では、全診療科の協力体制のもとで実践される包括的・全人的医療を通じて、プライマリーケアに必要な幅広い技能の習得が可能である。</p> <p>(4) 2年次の約4ヶ月にわたる選択研修では、臓器別の診療科専攻の他、総合長寿医療の専修に有利なコースの選択が可能である。</p> <p>(5) 研修の中で、日本を代表する高齢者医療を体験することが出来る。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要		<p>医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリーケアの基本的な診療能力（態度・技術・知識）を身につける。</p>			
4. 研修期間		( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		<p>研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 後期臨床研修（専攻医）プログラムあり。</p>			
5. 臨床研修を行う分野		<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目	内科	050004	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	24週	一般外来 2週
	救急部門	030398	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	8週	

<u>分野</u>	地域医療	030941	愛知県厚生連知多厚生病院 (篠島診療所、日間賀島診療所)	4 週	一般外来 2 週
		032048	愛知県厚生連足助病院		
		18859	いきいき在宅クリニック		
		096903	やすい内科		
		32015	知多保健所		
050004	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	※一般外来は知多厚生病院(篠島診療所、日間賀島診療所)、足助病院、いきいき在宅クリニック及びやすい内科にて、計2週実施予定。			
病院で 定めた 必修 科目	<u>外科</u>	050004	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	8 週	週
	<u>小児科</u>	050014	あいち小児保健医療総合センター	4 週	週
	<u>産婦人科</u>	030427	半田市立半田病院	4 週	
	<u>精神科</u>	050004	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	4 週	
		031688	大府病院		
選択 科目	<u>麻酔科</u>	050004	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	4 週	週
	補完・選択科	050004	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	40 週	週
					週
<p>備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 80 週  臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週  救急部門に対する研修期間については、研修期間とは別に救急部門における当直を含め対応する。当直実施回数は1ヶ月3×19月=57回程度  一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科、地域医療  選択科目の選択できる科目は次のとおり・・・内科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、整形外科、脳神経外科、泌尿器外科、眼科、耳鼻いんこう科</p>					

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：0500042

臨床研修病院群名：長寿医療研究センター

6. 研修スケジュール (一年次)・二年次：いずれかに○

プログラム番号 050004206

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分 野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
長寿医療研究センター(050004)	内科	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1
長寿医療研究センター(050004)	外科								1	1	1	1	1	1
長寿医療研究センター(050004)	麻酔科							1	1	1	1	1	1	1
長寿医療研究センター(050004)	精神科			1	1		1	1	1	1	1	1	1	1
大府病院(031688)	精神科			1	1	1	1	1						
長寿医療研究センター(050004)	補完											1	1	1
												2	2	2
												3	3	3
												3	3	3

\*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。



## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	プログラム番号	備考
					有：○			1 プログラム責任者
					無：×			2 副プログラム責任者
								3 研修実施責任者
								4 臨床研修指導医 (指導医)
代謝内科	浅原 哲子	国立長寿医療研究センター	副院長	34年	○	日本内科学会総合内科専門医、指導医、内分泌代謝・糖尿病内科領域 専門研修指導医、日本糖尿病学会 専門医、研修指導医、日本内分泌学会 内分泌代謝科（内科）専門医・指導医	50004206	4
代謝内科	川嶋 修司	国立長寿医療研究センター	長寿検診室長	30年	○	日本内科学会総合内科専門医、指導医、日本糖尿病学会専門医	50004206	4
代謝内科	大村 卓也	国立長寿医療研究センター	代謝内科医師	13年	○	日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医、日本老年医学会専門医・指導医	50004206	4
代謝内科	布施 綾智穂	国立長寿医療研究センター	代謝内科医師	9年	×	日本内科学会/内科専門医		上級医
血液内科	勝見 章	国立長寿医療研究センター	血液内科部長	36年	○	日本内科学会総合内科専門医、指導医、日本血液学会専門医、指導医	50004206	4
老年内科	佐竹 昭介	国立長寿医療研究センター	老年内科部長	35年	○	日本内科学会内科指導医、日本老年医学会専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医	50004206	4
老年内科	大西 丈二	国立長寿医療研究センター	老年内科医長	28年	○	日本内科学会総合内科専門医、指導医、日本老年医学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医	50004206	4
老年内科	安田 晃之	国立長寿医療研究センター	老年内科医師	8年	×	日本専門医機構内科専門医	50004206	上級医
老年内科	宮原 周三	国立長寿医療研究センター	老年内科医師	7年	×	日本専門医機構内科専門医	50004206	上級医
脳神経内科	新畑 豊	国立長寿医療研究センター	脳神経内科部長	37年	○	日本内科学会内科指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医	50004206	4
脳神経内科	今井 和憲	国立長寿医療研究センター	脳神経内科医長	18年	○	日本神経学会専門医、日本認知症学会専門医	50004206	4
脳神経内科	横井 克典	国立長寿医療研究センター	脳神経内科医師	15年	○	日本内科学会総合内科専門医、指導医、日本神経学会専門医、日本認知症学会専門医・指導医	50004206	4
消化器内科	松浦 俊博	国立長寿医療研究センター	院長	40年	○	日本内科学会総合内科専門医、指導医、日本消化器学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医	50004206	4

## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験		資格等	プログラム番号	備考	
					有：○	無：×			1 プログラム責任者	2 副プログラム責任者
									3 研修実施責任者	4 臨床研修指導医 (指導医)
消化器内科	京兼 和宏	国立長寿医療研究センター	消化器内科部長	38年	×		日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医	50004206		上級医
消化器内科	山田 理	国立長寿医療研究センター	消化器内科医師	30年	○		日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医	50004206		4
呼吸器内科	楠瀬 公章	国立長寿医療研究センター	呼吸器内科医長	23年	○		日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医	50004206		4
循環器内科	清水 敦哉	国立長寿医療研究センター	循環器内科部長	33年	○		日本内科学会指導医、日本循環器学会専門医・指導医	50004206		4
循環器内科	小久保 学	国立長寿医療研究センター	医療安全推進部長	32年	×		日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医	50004206		上級医
循環器内科	平敷 安希博	国立長寿医療研究センター	循環器内科医長	28年	○		日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医・指導医、日本老年医学会専門医・指導医	50004206		1, 4
循環器内科	上原 敬尋	国立長寿医療研究センター	集中医療科医長	14年	○		日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本不整脈心電学会専門医	50004206		4
循環器内科	吉田 達矢	国立長寿医療研究センター	循環器内科医師	13年	×		日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医	50004206		上級医
外科	鈴木 優美	国立長寿医療研究センター	消化器外科医師	14年	○		日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器病学会専門医	50004206		4
外科	有竹 典	国立長寿医療研究センター	消化器外科医師	11年	○		日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医	50004206		4
精神科	安野 史彦	国立長寿医療研究センター	精神科医長	31年	○		日本精神神経学会認定精神科専門医・指導医、日本老年精神医学会専門医・指導医	50004206		4
精神科	南 博之	国立長寿医療研究センター	精神科医師	15年	×		日本精神神経学会認定精神科専門医・指導医、日本老年精神医学会専門医	50004206		上級医
精神科	南 ひかる	国立長寿医療研究センター	精神科医師	15年	○		日本精神神経学会認定精神科専門医・指導医、日本老年精神医学会専門医	50004206		4
放射線科	加藤 隆司	国立長寿医療研究センター	放射線診療部長	37年	×		日本医学放射線学会診断専門医、日本核医学会核医学専門医	50004206		上級医

## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	プログラム番号	備考
					有：○			1 プログラム責任者
					無：×			2 副プログラム責任者
								3 研修実施責任者
								4 臨床研修指導医 (指導医)
放射線科	二橋 尚志	国立長寿医療研究センター	核医学診療科医長	29年	○	日本医学放射線学会診断専門医、日本核医学会核医学専門医	50004206	4
放射線科	櫻井 圭太	国立長寿医療研究センター	放射線診療科医長	23年	×	日本医学放射線学会診断専門医、日本核医学会核医学専門医	50004206	上級医
リハビリテーション科	牧野 稜	国立長寿医療研究センター	リハビリテーション科医師	8年	×	日本リハビリテーション医学会専門医	50004206	上級医
リハビリテーション科	加賀谷 斉	国立長寿医療研究センター	副院長	37年	○	日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、日本整形外科学会専門医	50004206	4
リハビリテーション科	前島 伸一郎	国立長寿医療研究センター	長寿医療研修部長	39年	○	日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医、日本認知症学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医	50004206	4
リハビリテーション科	大沢 愛子	国立長寿医療研究センター	リハビリテーション科医長	23年	○	日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医	50004206	4
リハビリテーション科	尾崎 健一	国立長寿医療研究センター	リハビリテーション科医師	20年	○	日本リハビリテーション医学会専門医・指導医	50004206	4
血管外科	藤城 健	国立長寿医療研究センター	手術・集中治療部長	39年	×	日本外科学会専門医	50004206	上級医
脳神経外科	百田 洋之	国立長寿医療研究センター	脳神経外科部長	28年	×	日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会専門医	50004206	上級医
脳神経外科	齋藤 剛	国立長寿医療研究センター	脳神経外科医師	10年	×	日本脳神経外科学会専門医	50004206	上級医
整形外科	酒井 義人	国立長寿医療研究センター	整形外科部長	31年	○	日本整形外科学会専門医、日本脊椎骨髄病学会/脊椎骨髄外科専門医・指導医	50004206	4
整形外科	渡邊 剛	国立長寿医療研究センター	関節科医長	31年	○	日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医	50004206	4
整形外科	松井 寛樹	国立長寿医療研究センター	脊椎外科医長	23年	×	日本整形外科学会専門医、日本脊椎骨髄病学会/脊椎骨髄外科専門医・指導医	50004206	上級医
ロコモフレイル	赤津 裕康	国立長寿医療研究センター	ロコモフレイルセンター長	34年	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本老年医学会専門医、日本認知症学会専門医・指導医	50004206	4

## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	プログラム番号	備考
					有：○			1 プログラム責任者
					無：×			2 副プログラム責任者
								3 研修実施責任者
								4 臨床研修指導医 (指導医)
ロコモフレイル	竹村 真里枝	国立長寿医療研究センター	サルコペニア診療科医長	33年	○	日本整形外科学会専門医・指導医	50004206	4
泌尿器外科	野宮 正範	国立長寿医療研究センター	泌尿器外科医長	32年	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本排尿機能学会専門医	50004206	4
泌尿器外科	西井 久枝	国立長寿医療研究センター	泌尿器外科医師	25年	○	日本泌尿器学会専門医・指導医	50004206	4
皮膚科	磯貝 善蔵	国立長寿医療研究センター	副院長	34年	×	日本皮膚科学会専門医	50004206	上級医
眼科	稲富 勉	国立長寿医療研究センター	眼科部長	35年	×	日本眼科学会指導医	50004206	上級医
耳鼻咽喉科	岩村 祥平	国立長寿医療研究センター	耳鼻咽喉科医師	20年	×	日本耳鼻咽喉科学会専門医	50004206	上級医
耳鼻咽喉科	下野 真理子	国立長寿医療研究センター	耳鼻咽喉科医師	17年	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医	50004206	4
もの忘れ	武田 章敬	国立長寿医療研究センター	もの忘れ外来部長	36年	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医	50004206	4
もの忘れ	佐治 直樹	国立長寿医療研究センター	もの忘れ外来医長	26年	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医	50004206	4
もの忘れ	櫻井 孝	国立長寿医療研究センター	研究所長	40年	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本老年医学界専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医	50004206	4
麻酔科	小林 信	国立長寿医療研究センター	麻酔科医長	29年	○	日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医	50004206	4
麻酔科	本田 直子	国立長寿医療研究センター	麻酔科医師	25年	○	日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医	50004206	4
病理	長谷川 正規	国立長寿医療研究センター	病理科医長	32年	×	日本病理学会認定病理専門医・研修指導医	50004206	上級医

## 33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：050004

臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	プログラム番号	備考
					有：○			1 プログラム責任者
					無：×			2 副プログラム責任者
								3 研修実施責任者
								4 臨床研修指導医 (指導医)
救急	関 幸雄	名古屋医療センター	救急部長	38年	○	日本救急医学会専門医、日本外科学会専門医・指導医、日本呼吸器外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医	50004206	3, 4
救急	金原 佑樹	名古屋医療センター	救急集中治療科医長	17年	○	日本救急医学会専門医、日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本インターベンショナルラジオロジー学会IVR専門医・指導医	50004206	4
救急	太平 周作	半田市立半田病院	医務局長 救急科統括部長	32年	○	日本救急医学会専門医、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医	50004206	3, 4
救急	石田 陽祐	半田市立半田病院	救急科部長	13年	○	日本救急医学会専門医、日本外科学会専門医	50004206	4
救急	秋山 荘二郎	半田市立半田病院	救急科医長	11年	○	日本救急医学会専門医、日本外科学会専門医	50004206	4
産婦人科	諸井 博明	半田市立半田病院	産婦人科統括部長	20年	○	日本産婦人科学会専門医	50004206	3, 4
小児科	鈴木 基正	あいち小児保健医療総合センター	総合診療科部長	16年	○	日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医	50004206	3, 4
精神科	岡田 寿夫	大府病院	院長	41年	○	日本精神神経学会専門医・指導医	50004206	3, 4
精神科	岡田 康子	大府病院	副院長	41年	×	日本精神神経学会専門医・指導医	50004206	上級医
精神科	岡田 佑介	大府病院	医長	16年	○	日本精神神経学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医	50004206	4
地域医療	高橋 佳嗣	愛知県厚生連知多厚生病院	院長	38年	○	日本内科学会総合内科専門医、日本消化器学会専門医、日本肝臓病学会専門医	50004206	3, 4
地域医療	小林 真哉	愛知県厚生連足助病院	院長	33年	○	日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医、産業医	50004206	3, 4
地域医療	中島 一光	いきいき在宅クリニック	院長	40年	○	日本呼吸学会専門医・指導医	50004206	3, 4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号：050004 臨床研修病院の名称：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験	資格等	プログラム番号	備考
					有：○			1 プログラム責任者
					無：×			2 副プログラム責任者
地域医療	村瀬 和敏	村瀬医院	院長	19年	×	日本内科学会総合内科専門医、 日本消化器学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医	50004206	3 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)

※ 「担当分野」欄には、様式A-10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター （ 愛知県 ）

研修プログラムの名称 国立長寿医療研究センター病院研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
国立長寿医療研究センター	050004	基幹型	愛知県	300時間	平日の当直2回、土日の日当直1回 宿日直許可あり	154時間 対象となる臨床研修医4名 (2024年度)	
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。